

saveMLAK ニュースレター

第21号

図書館総合展でブース出展・ フォーラムを行いました！

10月29日から3日間にかけて「第15回図書館総合展」において、saveMLAKブースの出展および、30日に主催フォーラム「東日本大震災の被災図書館に学んだ震災訓練プログラム」～「saveMLAKメソッド」の開発と実践”を行いました。今回はその模様を写真中心にお伝えします。

ブースではキハラ株式会社とコラボしたsaveMLAKブックトラックの現物展示の他に、新商品も含めたグッズ販売および「saveMLAKメソッド」実施動画の公開を行いました。

会場まで足を運んで頂いた方々にお礼申し上げます。またグッズ販売等saveMLAKをご支援して頂きありがとうございます。

【富澤 美典】

【写真提供/saveMLAKブース担当の皆様】



「saveMLAKメソッド」のフォーラムも大盛況でした。当日のまとめは <http://togetter.com/li/583561> で閲覧可能です（フォーラム資料はサイトに掲載予定）



MLAKぬいぐるみの他に今年Twitter (@kumo_botkun) のアイコンである「クモボット君」が新たに仲間入りしました。（右下）

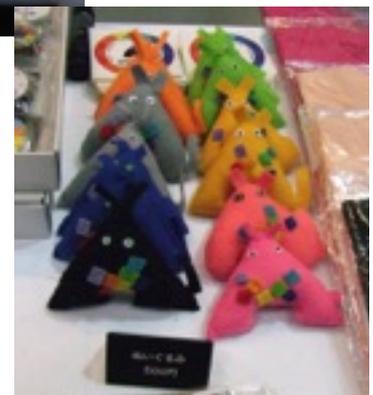


ブースの前景、パネル背景の7色がインパクト大。パンフレットとステッカーの一部、募金箱はブックトラックに配置しました。



先月号で告知した新商品のメモ付きカレンダーの実物です。どんなにめくって使っても必ずカレンダーが見える仕様です。

手作りのフェルトぬいぐるみは、新色としてオレンジやブルーなども登場しました。



saveMLAKニュースレターはクリエイティブ・コモンズライセンスにより提供、配布しています。複写・配布等、自由にしていただいて構いません。

ワークショップ「震災に備える」を終えて

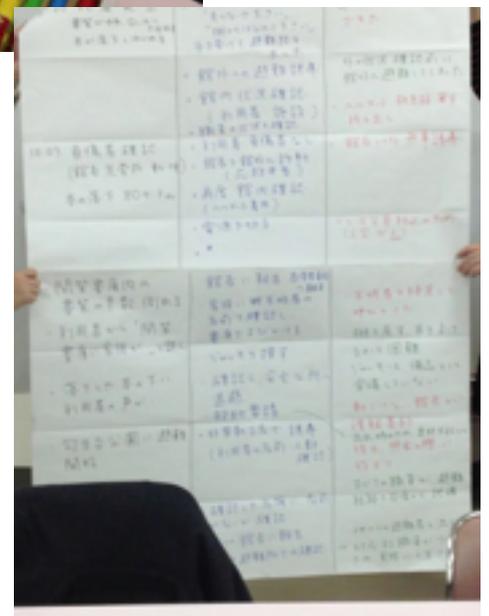
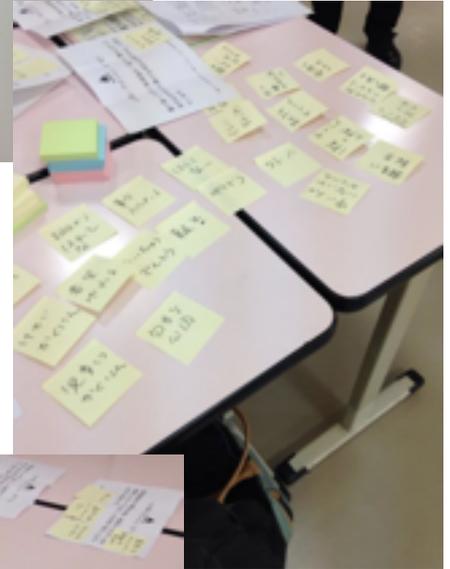
11月27日に仙台市内で開催された図書館地区別研修のワークショップ「震災に備える—図書館の危機管理」に参加させて頂きました。ワークショップはsaveMLAKメソッドに基づいて行われ、参加者は仙台市内の図書館職員として地震災害を模した状況の中で判断と行動を重ね、シミュレーション終了後、時々取った行動の振り返りを行い、災害に備えた気づきを引き出すという流れでした（昔懐かしのテーブルトークRPGに近い雰囲気です）。節目節目でアクションカードが配られ、中には天井崩落や書架の倒壊に利用者が巻き込まれるなど、非常にシリアスな状況も用意されており、私が入っていた班では、棚に挟まれた方の救助について利用者にどこまで手助けをお願いできるか、といった少し突っ込んだ話題も出てきました。

図書館での危機管理をテーマとする書籍は幾つか刊行されていますし、各自治体でもそれぞれ独自に危機管理マニュアルを作成していることでしょう。しかし、マニュアルを作成した後、定期的な見直しやマニュアルの掲載内容を想定した訓練は行われているでしょうか？また、私自身の反省でもあるのですが、マニュアルを覚えておけば最低限は行動できるだろうという気持ちがどこかにないでしょうか？実際に何らかの危機的状況を体験された方であれば分かると思いますが、“本番”では都度判断を求められる事態が多数起こります。マニュアルは確かに行動や判断の指針となりますが、「わかる」と「できる」とは異なります。判断力と行動力を養う意味でも、また、自館の危機管理マニュアルを点検する意味でも、saveMLAKメソッドを試してみてもはどうでしょうか。意外な気づきがあると思います。

…この訓練で私が犯した最大のミスは、揺れが収まった後に利用者を一旦館内に留ませようとしたことです。建物の耐震性が確保されており、且つある程度建物が密集した立地であればあながち間違いではないのですが、耐震性が低い建物という初期条件が頭から抜け落ちておりました。マニュアル人間の悪い見本ですね。

【安保 和徳】

【写真提供/岡本 真】



10月の出来事と今後の予定

- 2013年10月17日
第31回saveMLAK MeetUp開催
- 2013年10月29日～31日
第15回図書館総合展
インフォメーション・ブース出展
10月30日 15:30-17:00 第5会場
主催フォーラム
”saveMLAKフォーラム「東日本大震災の被災
図書館に学んだ震災訓練プログラム」～
「saveMLAKメソッド」の開発と実践”
(於：パシフィコ横浜)
- 2013年11月20日
第32回saveMLAK MeetUp開催
- 2013年11月27日
平成25年度図書館地区別(北日本)研修
「災害に備える-図書館の危機管理」と題して
震災訓練プログラムsaveMLAKメソッドの
ワークショップを実施(岡本、江草、鈴木)
(於：東京エレクトロンホール宮城)
- 2013年12月23日
第33回saveMLAK MeetUp開催

saveMLAK会計 2013年10,11月期収支

11月末現在

<収入>

受取利息	111	受取利子(ゆうちょ銀行)
受取寄付金	12,330	図書館総合展参加者有志
受取寄付金	531	個人1名
グッズ売上	207,200	図書館総合展ブース売上
グッズ売上	9,000	エル・ライブラリー
計	229,172	

<支出>

グッズ仕入	15,000	缶バッジ
グッズ仕入	44,415	カレンダー
旅費交通費	15,810	フォーラム講師旅費
消耗品費	2,611	文具等(総合展)
宣伝広告費	50,000	総合展ブースパネル等
宣伝広告費	10,000	MLAKメソッド動画編集
荷造運費	9,300	総合展関連物品送料
租税公課	1,000	昨年度法人税滞納金
支払手数料	1,235	振込手数料
計	149,371	

11月末現在 残高

1,501,416円 (9月比+79,801円)

【ファンド係：赤塚 昌俊】

saveMLAK統計 2013年11月現在

MLアカウント数	288 (-4)
総ユニーク Wiki 編集者 アカウント数	439 (+37)
Wiki 編集回数の総計	144,415 (+696)
総 Wiki ページ数	29,414 (+31)
総 Wiki 施設ページ数	25,672 (+7)

※増減数は9月時点との比較

編集後記

初めにこの21号が11/12月合併号となつてしまい申し訳ありません。1ページ目の総合展の記事は11月号掲載分を、その他の部分は発行日に合わせて加筆修正を行ったため、若干過去の情報が混ざっている事をご承知ください。

実はこのニュースレター、第1号から20号(10月分)をまとめた小冊子を図書館総合展の最終日に配布しました。個人として途中からニュースレター編集作成に携わったものが、まさか厚さ約1センチの冊子にまとまるとは思ってもいませんでした。これも毎月コツコツやってきた成果なのかなとしみじみ思っていました。

最後に、2013年も終わりに近づいています。ニュースレターもこれが年内最後となりますが、翌年も発行します。読者の方々に感謝を述べるとともに、今後もsaveMLAK共々よろしくお祈いします。では、よいお年を。

【今号担当：冨澤 美典】

編集発行: saveMLAK プロジェクト

発行日: 2013年12月17日(第21号)

発行所: 神奈川県横浜市中区相生町3-61 泰生ビル 2F

さくら Works <関内>

アカデミック・リソース・ガイド株式会社内

saveMLAK プロジェクト

E-mail: pr@savemlak.jp

URL: <http://savemlak.jp/>



saveMLAKニュースレターはクリエイティブ・コモンズライセンスにより提供、配布しています。複写・配布等、自由にしていただいて構いません。